

# 「これから」を考える

## ——「今」を見つめた未来の創り手たち——

新型コロナウイルスの感染拡大と、それによる社会の変化は、まさに誰もが予測しなかった事態であり、現代が「予測困難な時代」であることを、私たちは身をもって知ることになった。

だが、そうした中でも、多くの生徒と教師が、よりよい社会と幸福な人生、そして、その実現に寄与するこれからの学びや学校のあり方について主体的に考え、行動した。

彼ら・彼女らは今回の事態から何を学び、どのような気づきを得たのか——。「未来の創り手」である生徒と教師、そして、変化の激しい社会を生きている社会人の話から、学び、学校、教育の「これから」を考える。

吉田梅乃さん

私たちに必要なのは、人とのつながりの中で生きがいや働きがいなどを見いだしながら、自らを生かす力



太田絵梨子さん

解決すべき問いを見つけ、自分にできることを謙虚に考えることが求められている



依田浩崇さん

難局を乗り越えるためには、理想の社会像を描く力が必要



福岡県立育徳館中学校・高校 中村唯乃さん

未来は何が起きるか分からない。それでも、「今」は「将来」に確かにつながっている



神奈川県・私立自修館中等教育学校 川久保実莉さん

自分の知らない考え方があることに気がついたことで、もっと悩んでいいんだと思えるようになった



神奈川県・私立自修館中等教育学校 菅野風歌さん

人は、他者と話すことで自分を理解することができる——私にとっての大きな気づきだった



想定外の事態を経て  
社会人が考えた、  
「これから」の社会で求められる  
資質・能力

P. 12-15

臨時休業を経た  
高校生が語る、  
私の学びの  
「これまで」と「これから」

P. 8-11

特集

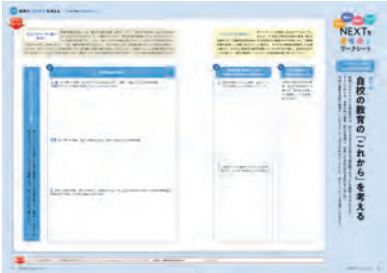
# 教育の



生徒の・教師の・自校の・社会の  
NEXTを語り合うワークシート

今号の特集のテーマを校内の  
教師同士で  
深めるツールとして、  
ご活用ください

P.32-33



教育の「これから」を考えるシリーズ特集がスタート

臨時休業中の生徒の成長を、  
ランドデザインの見直しにつなげる  
長野県蘇南高校

予測困難な社会を生きる者として、  
不安を語り合うことは生徒にも教師にも必要  
福井県・私立福井南高校 浅井佑記範

生徒に保障するミニマムな指導を明確にした上で、  
生徒一人ひとりの主体的な学びを支援したい  
北海道旭川東高校 松井恵一

これからの学校教育 実践事例  
広島県立広島叡智学園中学校・高校  
広島県立広島国泰寺高校

子どもたちが未来の社会で幸せに生きるために、  
学校は何をすべきかを考える  
広島県教育委員会 教育長 平川理恵



本誌特集の  
「これから」  
P. 30-31

臨時休業の経験を通じ  
見つめ直した、  
自校の教育活動の  
「これから」  
P. 26-29

想定外の事態における  
経験や気づきを、  
教育の「これから」に  
つなげる  
P. 22-25

社会の変化を見据えた  
変革先進県の取り組みに見る、  
「これから」の学校像  
P. 16-21



このマークのある図版は、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。  
「HOME → 教育情報 → 高校向け」をご覧ください。